

答 申 書

～端野自治区内事業の今後のあり方について～

平成21年12月
端野まちづくり協議会

平成21年12月17日

北見市長 小谷 每彦 様

端野まちづくり協議会
会長 荒井 理 一

端野自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成21年9月8日に諮問を受け、北見市が新たに策定する総合計画の第2次実施計画（平成22年度～平成24年度）に盛り込むべき端野自治区内事業のあり方について、当協議会において慎重に審議した結果、本書のとおり答申致します。

はじめに

北見市では、平成21年3月に合併後初となる「北見市総合計画」が策定され「ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市」をめざし、新たなまちづくりが動き出しました。また、9月には、北見市の憲法ともいえる「北見市まちづくり基本条例（素案）」について答申を受け、条例化へ向けた準備が進められています。本年は、北見市のまちづくりにとって大きな柱が見えてきた年になりました。

端野自治区では、新市まちづくり計画の中でも重要な位置づけがされていた端野中学校改築事業、パークゴルフ場施設整備事業、へき地保育所建設事業（小桜保育所）が着手され、継続して端野町7号線道路整備事業、端野地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠・污水管渠）など待望の事業が実施されました。

また、農業分野では、道営担い手支援畑総事業（端野下右岸地区）や持続的農業・農村づくり促進特別対策事業が、平成22年度の事業完了に向かって進められています。

端野自治区住民にとっては新たなまちづくりが進んでいることを実感できる年となりました。

当協議会では、自治区長が辞任した後、不在期間が長期にわたったことから、自主的に勉強会を開き、改めて自治区制度について理解を深めようと努めてきました。このことは平成21年9月に「自治区制度に係る意見要望について」としてまとめ、市長に提出したところです。

自治区長問題が早期に解決され、自治区制度を守り高める視点から行政として必要な改善に取り組み、今後も自治区が発展していくことを強く望んでいます。



↑ 市長へ意見要望書を提出 9月16日

さて、当協議会に諮問された「自治区内事業の今後のあり方について」は、北見市総合計画を基本として新たに生じた要因なども考慮し、現地を確認しながら第2次実施計画に盛り込むべき事業について審議を重ねてまいりました。

答申にあたっては、「北見市財政健全化計画」などを踏まえ、行政改革や財政健全化の視点から自治区内における事業の必要性や効果など、様々な角度から検討を加え「選択と集中」に意を配したところです。



↑ 委員による現地確認（端野中学校）

今回の答申にあたっては、別掲の26事業を採択しました。その中でも当協議会として、特に優先順位が高いと考える7事業について、その内容や必要性について申し上げます。

（なお、基本目標1及び3、6にあっては主要事業を選択しておりませんので、基本目標に対する考え方についてのみ記載いたします）

基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

7月5日、一区消防団の創立100周年記念式典・祝賀会と端野消防団の連合演習が行われました。一区消防団は、屯田戸主により明治43年に発足した私設消防組がその始まりで、端野消防組織の発祥となりました。

記念式典直前の6月末に降雹があり、一区地区は最も大きな農業被害を受けましたが、かつて常呂川の大洪水被害を受け集落移転の歴史を持ち、幾多もの火災や洪水等の災害に立ち向かった不撓不屈の歴史を受け継ぐ一区消防団の皆さんは、見事な中隊訓練を披露し、見守る大勢の住民や関係者からは大きな賞賛が寄せられました。

こうした事業をとおして地域予消防の



↑ 端野消防団連合演習

歴史や伝統を受け継ぎ、端野自治区全体の防災活動に繋げ、より安全・安心なまちづくりを推進することが必要です。

基本目標 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

【端野小学校改築事業（プールを含む）】

端野小学校は昭和51年に建設され33年が経過し、また、昭和56年の新耐震基準以前の設計で建設されています。さらに、現在地は市街地中心部から距離があり、通学児童の負担が大きいことから、端野中学校同様に新市まちづくり計画に登載し移転改築を要望してきたところです。

移転改築に必要な耐力度調査に着手し、早期に教育環境の改善に取り組むことを強く望むものです。

【屯田の杜公園野球場施設整備事業】

屯田の杜公園野球場は、一般の団体や少年団などが定期的に利用し、地区大会をはじめ管内大会や全道大会が開催されています。この施設は、昭和56年に建設され、28年が経過しており、フェンス及びバックネットが腐食するなど老朽化が著しく、また、フェンス基礎部分はコンクリートがむき出しのため安全確保のための改修が必要です。

施設を有効に活用するためにも安全性向上の改善は必要であり、早期に改修工事に着手することを望みます。

野球場利用状況

年度	大会関係（回数）				練習・練習試合関係（回数）			
	一般	中学	少年	計	一般	中学	少年	計
18	8	4	3	15	166	6	95	267
19	9	4	2	15	100	1	81	182
20	12	5	2	19	117	1	98	216

基本目標 3. 支えあい、一人ひとりを大切にすまちづくり

小桜保育所は、年内に改築工事が完成し、来年2月から供用開始を予定しています。この施設を建設するにあたっては、父母からの意見も参考にしながら、

保育室と遊戯室を一体化し、職員室から窓越しに全体が見渡せるなどの工夫がされています。

小桜保育所は、川向地域の要望により建設され、端野自治区初となる地域運営委員会方式で運営されます。地域の皆さんの力で川向らしい細やかな子育て支援がなされることを期待しています。

基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【端野町農業振興センター備品購入事業】

農業振興センターは平成4年に使用が開始され、今では年間約2,000名の方々に利用されています。特に道産の大豆や小麦を使用した味噌や豆腐、パンづくりなど地域の特色を活かした施設利用が行われています。

近年、農家女性グループなどが新たな試みとして道産小麦を材料としたうどんやパスタなどの食品加工に取り組んでいますが、農業振興センターには製麺機がないことから、製麺作業は遠距離にある他市町の施設を利用している現状にあります。

製麺機導入については、農業振興センターを共に運営している、きたみらい農業協同組合から費用負担の申し入れも出されています。

道産小麦を利用したうどんやパスタなどの食品加工技術を多くの市民に普及することは、地産地消を促進し、さらには次代を担う子どもたちへの食育事業にも寄与することから製麺機の導入を求めるものです。

基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【端野町7号線道路整備事業関連事業】

端野町7号線は、屯田の杜公園から北見商業高校や大規模商業施設に繋がる自治区内の重要な幹線道路です。また、この沿線に端野中学校が移転されることから、新たな通学路としての役割も担うこととなります。

このことから「人にも、車にも優しい」安全・安心な道路として、歩道や街路灯の設置、



↑ 端野町7号線を現地確認

交通安全施設の整備を強く望むものです。

特に、端野町7号線の街路灯整備をはじめ、同路線にアクセスしている端野町302号線及び249号線の道路整備、東12号から東15号に至る各号線の歩道整備や横断歩道の設置、鉄道を渡る東13号の道路整備については早急に着手することを望むものです。

【端野町1号線道路整備事業】

端野町1号線は、福祉ゾーンを走る一部未舗装の道路です。隣接して共同生活介護グループホーム施設があり、さらに平成23年には小規模特別養護老人ホームの建設が予定されており、周辺環境整備が必要です。

この区域に福祉施設が集約されてくることから、端野自治区の福祉ゾーンとして道路整備や下水道整備などの基盤整備を進め、穏やかで安心して過ごせる環境を整えていくことを望むものです。

【市営住宅建替事業（親交団地）】

親交団地は、昭和48年から昭和52年にかけて建設され、立地の良さからも入居希望の多い公営住宅ですが、老朽化に加え間取りが狭小であるなど居住環境の改善が望まれています。

この団地は、現在策定中の北見市公営住宅等長寿命化計画において、建て替える団地として登載される予定です。

建て替えにあたっては、居住環境の改善とともに、端野町7号線や国道39号からのアクセスなども考慮し、端野自治区の周辺環境整備に寄与する団地計画を望みます。

また、地場産材を活用した木造住宅を供給するなど、地域の資源循環や地域経済の活性化を図る取り組みについても考慮し、周辺の地域と調和し老人から若年世帯までが安全・安心に暮らせる住宅整備を望むものです。



↑ 居住環境の改善が望まれる親交団地

【除雪車両車庫整備事業】

現在の除雪車両車庫は、福祉ゾーンにあり、建物は老朽化しています。

この車庫には大型車両が格納されており、騒音や振動を伴うことから福祉施設との共存は難しく、福祉ゾーンとしての環境に配慮する必要性から移転改築を強く要望します。

基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

地方分権が進み、地域社会が変化する中で、住民が地域活動に「自ら参加し、協力し合う」という住民意識の醸成と「地域のことは地域で取り組む、自主自立のまちづくり」が求められています。

北見市は平成19年から「市民が自ら考え、自ら実践する」まちづくり活動を応援するまちづくりパワー支援事業補助金を創設しました。

この補助金により、今年度も地場産品を活用し、「食と安全と健康」をテーマにした料理講演会や、旧川向小学校体育館の梁材を利用したベンチ作りを実施した「川向メモリアル事業」など5事業が実施されました。運営方法は地域ぐるみで行われるなど、地域コミュニティの協働意識の高まりも見受けられています。

この補助金は、活力のある自主的な住民活動の支援制度として多くの住民が積極的に活用することを期待するものです。



↑ ベンチ作成（川向メモリアル事業）

むすび

旧端野町では、住民によるワークショップを取り入れながら、住宅マスタープランを策定し、住民にとって「暮らし続けたいくなるまち、住んで心地よいまち」をめざして住環境の整備を始めました。

このマスタープランでは、国道と平行する幹線道路や屯田の杜に繋がる公共施設ゾーンなどが構想されました。また、まちを歩くことで住民のコミュニケーション機会を高めようという提案もありました。

これらの構想から10年を経て、国道と平行する端野町7号線が開通し、公共施設ゾーンでは端野中学校の移転改築工事が進められており、来年4月から授業が始まろうとしています。これらの事業の完成により、中心市街地に近いエリアに生徒や住民が歩く環境が整い、互いに顔を合わせ、声を掛け合う機会が増えるのではないかと期待されます。

住民も交えて策定した計画が新市まちづくり計画や総合計画に受け継がれ、実際にまちが発展していく姿を目の当たりにして、このまちに暮らす私たちがまちづくりにかかわることの重要性について再認識したところです。

第2次実施計画の策定にあたっては自治区の事情に十分配慮いただき、この答申を尊重していただくよう要望いたします。

端野まちづくり協議会開催状況

1. まちづくり協議会

平成21年度

NO	日 時	場 所	内 容
第1回	4月17日(金) 午後4時00分	総合支所	<p style="text-align: right;">委嘱状交付</p> <p>審査 まちづくりパワー支援事業 本審査</p>
第2回	9月8日(火) 午後7時30分	総合支所	<p>諮問 端野自治区内事業の今後のあり方について</p> <p>説明 諮問から答申までの流れについて</p> <p>報告 まちづくりトークの実施状況について</p> <p style="text-align: right;">自治区制度等庁内検証会議経過報告について</p>
第3回	10月15日(木) 午後7時00分	総合支所	<p>説明 北見市まちづくり基本条例(素案)について</p> <p style="text-align: right;">北見市総合計画 第2次実施計画策定方針について</p> <p style="text-align: right;">答申までの日程について</p> <p style="text-align: right;">平成21年度 端野自治区関係予算について</p> <p>議題 端野自治区内事業の今後のあり方について</p> <p style="text-align: right;">北見市地域福祉計画策定委員会委員の推薦について</p>
第4回	11月25日(水) 午後3時00分	総合支所	<p>報告 北見市常呂川水系環境保全条例について</p> <p>議題 答申(案)について</p> <p style="text-align: right;">自治区制度等庁内検証会議3部会報告書の概要(中間報告)について</p>
第5回	12月9日(水) 午後6時30分	総合支所	<p>議題 答申(案)について</p>

2. 勉強会

NO	日 時	場 所	内 容
第1回	4月17日(金) 午後3時00分	総合支所	まちづくりパワー支援事業 本審査の進め方について 申請事業の予備審査(書類審査)
第2回	6月16日(火) 午後2時00分	総合支所	自治区制度のあり方について
第3回	7月8日(水) 午後6時30分	総合支所	自治区制度のあり方について
第4回	7月29日(水) 午後6時30分	総合支所	自治区制度のあり方について
第5回	9月8日(火) 午後6時30分	総合支所	まちづくりトークの実施状況について 自治区制度等庁内検証会議経過報告について
第6回	11月6日(金) 午後1時30分	現地 総合支所	現地確認 パークゴルフ場施設整備事業 端野中学校改築事業 端野町7号線道路整備事業 へき地保育所建設事業(小桜保育所) 自治区制度等庁内検証会議経過報告について
第7回	11月25日(水) 午後1時30分	総合支所	答申(案)について 自治区制度等庁内検証会議3部会報告書の概要(中間報告) について

3. 意見要望

	9月16日(水)	本庁	自治区制度に係る意見要望について(市へ要望書)
--	----------	----	-------------------------

端野自治区要望事業一覧

2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

(4) 小中学校教育の充実

1	端野小学校改築事業 (プール含む)	校舎の老朽化が著しく、市街中心部からも距離があり児童の通学負担が大きいことなどから、教育環境改善のため移転改築を行うものです。
2	端野中学校改築事業	平成22年3月の完成を目指し、現在、新たな校舎の建設が進められていますが、老朽化した管理職員用教員住宅についても移転改築を進めるものです。

(10) 生涯スポーツの振興

3	屯田の杜公園野球場施設整備事業	野球場の老朽化が進み、特に野球場のフェンス基部が、コンクリート製で利用者への危険性が高いため、ラバーフェンスの設置及びフェンス金網張替え、支柱塗装など施設整備を図り、施設の安全性の向上と基本機能を維持するものです。
---	-----------------	---

3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

(5) 高齢者福祉の充実

4	端野デイサービスセンター施設改修工事	平成5年2月の開所から16年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。特に屋上防水及び暖房・給湯などの設備を改修することにより、利用者が安心して施設利用でき、安定したサービスを継続できるものです。
---	--------------------	--

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2) 地域特性を活かした農業の振興

5	端野町農業振興センター備品購入事業	製麺機の導入により、多くの市民に道産「小麦」を材料とした食品加工（うどん、パスタ等）の普及を図ると共に、地産地消及び道産食材のPRを推進するものです。
6	端野町農業振興センター修繕工事	屋根及び外壁の老朽化した塗装を塗り替えることで、施設の良質な保全と利用者への快適な施設利用を促進するものです。 ・平成4年12月建設
7	道営担い手支援畑総事業 端野下右岸地区	一区常呂川右岸地区堤防付近の圃場排水路の底上げ改修及び新設ルートの排水路を整備することにより、圃場の暗渠排水工事を実施することができるものです。

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2) 地域特性を活かした農業の振興

8	農地・水・環境保全向上対策	地域ぐるみの農地・農業用水等の保全向上に関する共同活動と、農業者の環境保全に向けた営農活動を実施することで、地域の農地・水・環境の保全と質的向上を図るものです。
9	持続的農業・農村づくり促進特別対策事業	農業・農村を持続的に展開させるために、生産基盤整備や基幹的な農業水利施設整備を促進し、担い手の育成・確保を図るものです。

(7) 新たな観光資源の活用

10	端野町交流促進センター施設改修事業	営業開始から12年目を迎え、定期的な維持補修や機械設備の取替えなどの時期を迎えています。施設改修をすることで維持管理と建物の延命措置が図れるとともに、サービスの向上と営業効果の増幅が期待できるものです。
----	-------------------	---

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(1) 機能的な都市空間の創出

11	地籍成果修正事業	地籍調査で確定した境界を修正することにより、市民の土地に対する境界紛争の防止や所有権の保護を図るものです。
----	----------	---

(2) 道路網の整備

12	端野町174号線道路整備事業	本道路は雨水排水処理が伴っておらず、降雨時や融雪時には道路の不陸等が起きているため、道路改良整備により生活環境の改善を図るものです。
13	端野町302号線道路整備事業	未改良の本道路を整備することで、地域住民の生活環境の改善を図るとともに、端野町249号線と同時期に整備することで、国道39号から端野町7号線まで一体化した路線となり利便性の向上が期待できるものです。
14	端野町7号線道路整備事業 (東11号～東13号)	中学校が移転したことで本道路は生徒の交通量が増加すると考えられるため、歩道や街路灯を整備することにより生徒の安全な通学路が確保されるものです。
15	端野町12号線道路整備事業	住宅地と移転した中学校とを結ぶ路線となることから、生徒の通学の安全を確保し、かつ地域住民の生活環境向上のために整備するものです。
16	端野町249号線道路整備事業	端野町7号線と接続することにより、生徒の安全な通学路が確保されるとともに、地域住民の生活環境の向上を図るものです。
17	端野町1号線道路整備事業	本道路は一部未改良のため、降雨時や融雪時に道路等の不陸が起きる状況であり、本道路の隣接地において福祉施設が立地予定であることから、道路改良整備を行い生活環境の改善を進めるものです。

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(2) 道路網の整備

18	端野町227号線道路整備事業	幹線道路と接続していない本路線を整備することにより、利便性を高め生活環境を改善するとともに、体系的な道路環境の向上が期待できるものです。
19	端野町163号線道路整備事業	本路線沿いに建てられている親交団地から、新しい中学校への通学路として利用される路線となるため、整備により生徒の安全な通学路を確保するものです。

(4) 良好な住宅・住環境の創出

20	市営住宅建替え事業(親交団地)	親交団地は老朽化が進んでおり設備水準も低下しているため、建替えにより市民生活の安全と社会福祉の増進に寄与するものです。 ・昭和48年～昭和52年建設
----	-----------------	---

(5) 水道水の安定供給と下水道の整備

21	端野地区特定環境保全公共下水道事業(雨水管渠)	雨水管渠の整備率は、平成20年度末現在で7.53%と非常に低く、継続し雨水管の整備を図るものです。
22	端野地区特定環境保全公共下水道事業(汚水管渠)	平成4年度に事業着手し、汚水管渠の整備も進んできており、生活環境の向上や自然環境の保全に向け継続して整備するものです。
23	端野町下水道管理センター整備事業	下水道処理施設は、公共用水域の水質保全に重要な役割を課しており、改修計画の策定により放流水質を維持するものです。

(6) 除排雪体制の強化

24	除雪車両車庫整備事業	現車庫は築年数も相当経過しており、修繕できない状況にあるため、新たに建設し除雪車両の適正な維持管理を図るものです。
25	除雪機械購入事業	冬期間の市民生活への影響を最小限に抑えるため、除雪作業に必要な機械を購入(更新)するものです。

6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(5) 住民自治の推進

26	地域生活センター維持補修事業	屯田農村生活センター(三区 昭和55年建設)は地域・自治活動の拠点施設から、誰もが利用しやすい施設として床張替え、玄関フード設置、トイレ段差解消の施設整備を図るものです。
----	----------------	---

◇端野まちづくり協議会◇

【委嘱期間 H20.6.14~H22.6.13】

	氏 名
会 長	荒 井 理 一
副 会 長	岡 村 廉 明
委 員	岩 原 和 子
委 員	鹿野内 みゆき
委 員	河 端 文 雄
委 員	北 川 正 美
委 員	木 村 則 夫
委 員	笹 木 健 生
委 員	佐 藤 真佐子
委 員	柴 田 登与志
委 員	松 浦 英 明
委 員	松 崎 常 雄
委 員	村 本 慧 乃
委 員	森 谷 幸 弘
委 員	横 岡 良志恵